

TDM(交通需要マネジメント)東京行動プラン

平成12年(2000年)2月



東京都

# 新しい都市文明に向けて

20世紀は、産業の世紀でありました。人・物・情報が効率化を求めて集積することによって、都市化が急速に進みました。

しかし一方で、効率性を重視した産業化は、今や地球的規模で成長の限界を露呈させています。東京も都市機能の低下だけではなく、都市環境が都民の生命に関わる危機的状況に直面しています。

この危機的状況を招いている大きな要因に、自動車交通問題があります。

交通渋滞は慢性化し、経済効率は大きく損なわれ、排ガスによる都民の健康への影響は深刻で、待ったなしの状況であります。

私はこうした状況にいち早く対処するため、効率の良い移動ができるまちづくりをめざし、首都圏をにらんだ環状道路や南北の幹線道路ネットワークの整備に努める一方、交通発生量そのものを抑制し、都市交通の円滑化を図るTDM(交通需要マネジメント)が重要であるとの視点から、総合的な施策づくりに取り組みました。

そして、多くの方々からお知恵を拝借しながら、昨年11月に「TDM東京行動プラン案」を策定し、都民・事業者などさらに幅広くご意見を伺うことといたしました。

また並行して、排ガスのうち特に健康影響が懸念され、汚染状況が目にも見える浮遊粒子状物質対策として、「ディーゼル車NO作戦」を展開し、さらに、都民・事業者の方々の自主的な行動に訴え、自動車利用の自粛や低公害車の普及を促進する「自動車使用に関する東京ルール」を策定しました。

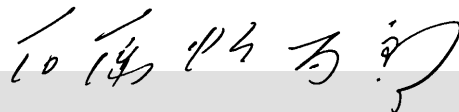
この「TDM東京行動プラン」をもって、先の二つの取組とあわせ一体のものとして、東京の自動車使用と交通のあり方を総合的に展開することになります。

この東京行動プランの中には、皆さんに痛みを負っていただかなければならない施策もあります。都市生活における自由とは、公平とは、どうあるべきかを十分に考えたうえで、東京の活力の回復のために、また都民の健康を守るために、「今でも遅すぎるが、今やらなければ時期を失する」という認識に立って思い切った先駆的な行動を展開することにしました。

21世紀を拓く都市文明を創造して、将来世代にわたって、持続可能な都市のあり方を国と世界に発信していくことが、日本の首都東京の重要な役割であると確信します。環境と機能の調和した東京の実現に向けて、一步一步着実にかつスピードをもって取り組んで行こうではありませんか。

平成12年(2000年)2月

東京都知事



## 乗り物にみる20世紀の東京の変遷



【明治後期の日本銀行本店前】  
この頃の自動車は、もっぱら荷物の運搬に使用された



【関東大震災前ごろの銀座通り】  
人々の移動手段は人力車や路面電車



【昭和7年の新宿駅前通り】  
自動車が移動手段として一般化してくる



【昭和30年の銀座通り】  
この頃から自動車が道路交通の中心になっていく



【昭和45年の国道246号線】  
高度成長期・モータリゼーション社会の到来



【現在の環状7号線】  
慢性的な渋滞の発生

**1. 基本理念**

- 都市交通の新たな展開のために ..... 2
- TDM(交通需要マネジメント)とは ..... 3

**2. 東京の都市交通の現状と問題点**

- 公共交通機関の整備状況 ..... 4
- 自動車の効用 ..... 6
- 道路交通の現状 ..... 7
- 渋滞等の影響 ..... 8
- 東京の道路混雑の特徴 ..... 11
- 東京の道路整備の状況 ..... 15
- 東京の駐車場整備の状況 ..... 16

**3. 円滑な都市交通の新たな展開**

- TDM東京行動プランの基本的な考え方 ..... 18
- 求められる改善策 ..... 20

**4. 目標の設定**

- 目標値設定の考え方 ..... 22
- 交通改善目標値の設定と環境の改善 ..... 23

【参考】関連する行政計画について ..... 24

**5. 快適な交通環境のための総合施策**

- 施策の全体体系 ..... 26

**6. 都民とともに協働で取り組む重点施策**

- TDMの観点から重要な9つの施策 ..... 27
- 駐車マネジメントの推進 ..... 28
- 道路交通システムの高度情報化 ..... 32
- 自動車使用に関する東京ルール of 展開 ..... 34
- 乗り換えの利便性の向上 ..... 36
- 自転車活用対策 ..... 38
- パーク&ライドの検討 ..... 40
- ロードプライシングの導入 ..... 42
- 企業保有車の自宅持ち帰り自粛 ..... 44
- 物流対策 ..... 45

**7. TDMを支える都市基盤**

- 道路・公共交通機関の整備 ..... 46
- 道路の整備等 ..... 47
- 公共交通機関の整備・利便性の向上 ..... 48

**8. 行動計画**

- 都民・事業者・行政の協働による行動計画の推進 ..... 51
- 交通需要を調整する手法 ..... 52
- 人間性が活かされた交通空間の形成 ..... 54

【TDM東京行動プラン関連資料】 ..... 56

## 都市交通の新たな展開のために

これからの成熟社会では、量的な拡大もさることながら、特に質的な面の充実が重要になってきています。

都市交通面からとらえると、交通渋滞により引き起こされる都市機能や都市環境・地球環境への影響は深刻なものになっています。今後、持続的発展が可能な都市を実現していくためには、既存の社会基盤を有効活用していくとともに、自動車使用のあり方を抜本的に見直していくことが必要です。

主に行政が取り組む道路整備などの「容量の拡大」だけでなく、都民・事業者などの方々がライフスタイルや社会経済システムを変革し、自動車の効率的な利用や使用の抑制、さらには公共交通等への利用転換などの交通需要マネジメント（TDM）を推進していくことが必要です。

そのためには、都民・事業者・国や首都圏の自治体を含む行政と都は連携・協力して取り組んでいくことが重要です。

「TDM東京行動プラン」は、都市交通の新たな展開のあり方を視野に置きながら、東京における交通改善の基本的な考え方やその仕組みを総合的・体系的に示したものです。

## TDM (交通需要マネジメント) とは…

交通需要マネジメント (Transportation Demand Management) とは、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を図ることにより、都市または地域レベルの道路交通混雑を緩和していく取組をいいます。

### たとえば…

- 自動車利用の自粛を呼びかける
- 公共交通への転換を図る
- 自動車の乗り方を工夫する
- 物流システムを効率化する
- 経路の変更を促す
- 就業場所や勤務時間を工夫する
- 駐車の方法や駐車場の使い方を工夫する
- 自動車の利用を調整・抑制する

といった、いくつかの施策を効果的に組み合わせることで、自動車本来の機能の回復や、都市環境の改善を図ろうという取組です。

これまでの道路や公共交通の整備という「容量の拡大」施策とあわせて、このTDM施策を図っていくことが、東京の持続的発展と環境改善のために必要とされています。